

エリアウェーブ

峡東教育事務所 地域教育支援スタッフ Tel 0553-20-2731 Fax 0553-20-2733

主な記事・紹介校・団体

- ・芦川小・笛吹高・日川高
- ・ふえふき文化・スポーツ振興団
- ・塩山中・笛川小・石和中
- ・石和南小・窪平保育園・各小中
- ・県弁護士会・日川小・石和西小



子育て講演会の様子（コラージュ画像）

7月8日(木)、峡東地域教育推進連絡協議会(峡地連)は、山梨市民会館において総会、および「子育て講演会」を開催しました。以下に講演内容の一部を抜粋し、ご紹介します。

1. 新型コロナウイルス感染症が人類に問うたもの

- ★ 新型コロナウイルスの特徴
致死率・感染力とも過去に人類が経験したウイルスより手ごわい。変異が早く、適応力が強い。季節性で流行。東京オリンピックで最強変異型「ゴジラ株」発生？
- ★ 感染症の具体的症状
肺炎より血栓症、また心筋の後遺症が多い。
- ★ 国レベル、個人レベルでできる対策
PCR検査・ワクチン・薬の3本柱。現実を知り、未来を予測する。運動・禁煙などの健康作り、飛沫対策。
- ★ 新型コロナウイルスが終息しないだろう理由
世界同時にワクチンや薬が行き渡らないため、残ったウイルスが耐性を持ち変異し続ける。仮にコロナが消えても、人類の活動でこのまま自然破壊や温暖化が進めば新しいウイルスが出続ける。世界の皆で協力しないと解決できない。皆が仲良く、楽しく、便利に暮らすにはどうしたら良いか世界中が真剣に考えるようになった。

2. 子育ての目標

- ★ 自立のための3つの要素
 - ① 私には問題を解決することができる。(自己概念)
 - ② 仲間と一緒に未来を作ることができる。(世界観)
 - ③ 人生を楽しみ、命を愛する。(自己理想)が大切
- ★ 共同体感覚(アドラ-心理学の言葉)と愛

所属する共同体のために自分が何か良いことをしようとする感覚。地球規模など、対象を大きくするほど共同体感覚には近くなる。

3. やわらかい脳の発達

- ★ 脳と遺伝子から見るヒトの歴史
ヒトは組織的な行動を取るようになってから脳が大きくなった。日本人は脳が大きい分、ゆっくり成長するので、思春期も30才くらいまで続く。
脳が元気で長生きする条件は「自然・群れ・遊び」。
- ★ 子どもの心の発達と自立
2才は始めの自立のジャンプを。9才は批判する。10才で子育て終了宣言。14才で生活能力の自立。

4. たくましい心を育てる

- ★ 聞き上手になる。子どもの心と付き合う共感の仕方。
- ★ 怒りは使われる。「人の為」と書いて「偽り」。
- ★ 特徴=遺伝子を生かす・欠点は長所。
- ★ 脳と伝達物質 「ドキドキ」のドーパミンは神経細胞を活性化する。「じわじわ」のセロトニンは免疫系を活性化する。情動体験で脳が活発になる。
- ★ 課題の分離をしたうえで、共同の課題への提案。
- ★ 「正しいか否か」ではなく、「何か便利で、何か不便利か」で考えれば、怒らない。皆で仲良く生きられる。

オンライン参加も含め、200名以上がアップテンポな坂本先生の講演に時を忘れて聴き入り、思春期の子どもたちへの理解を深めました。講演会へご参加いただき、誠にありがとうございました。

すずらの畑で地域の交流

笛吹市立芦川小学校・山梨県立笛吹高等学校
笛吹市役所芦川支所

芦川小では、5月20日、「すずらの里祭り」に向けて、すずらん畑やすずらん畑周辺・駐車場の清掃活動を児童・保護者・教職員で行いました。今年度は、笛吹高校の植物研究部の生徒たちと芦川支所の皆様も活動に参加しました。児童たちは白い可憐な花を見つけるたびに「かわいい！」と感動していました。清掃活動終了後には、笛吹高校がこれまで研究してきたすずらん畑の研究成果について簡単に講義を受け、すずらん畑についてさらに学



清掃活動の様子と、高校生から研究成果を聴く様子

びを深めることができました。参加した高校生は「研究成果を改めて見直す機会となり、小学生が質問してくれて嬉しかったです。」児童は「すずらん畑がもっときれいになってよかったです。」「芦川の自然についてよくわかりました。」と感想を伝えてくれました。この清掃活動に関わった子どもたちの思いが、すずらんを見に来た方々を気持ちよく迎えてくれることでしょう。



高校生に質問する児童

山梨市朝市・図書館でのボランティア活動

山梨県立日川高等学校



朝市の受付の様子

5月9日、やまなし街の駅で行われた朝市において、日川高校の生徒が運営業務のボランティア活動を行いました。受付では、来場者の検温・健康チェック用紙への記入への声かけなどを行い、安心して朝市に参加できるように活動しました。子どもたちの遊び場においては、子どもたちが喜ぶようおもちゃを選んだり、一緒に遊んだりしました。



読み聞かせをする様子



子どもたちと遊ぶ様子

また6月6日には、山梨市立図書館において司書業務のボランティア活動を行いました。おはなし会では、手遊びで会場が和み、絵本と紙芝居の読み聞かせへと続きました。閲覧室では、本の消毒や整理、利用する方が見やすいように書架の整理整頓を行いました。



書架を整える様子

「高校生にボランティアをしていただき、とても助かりました。」とそれぞれの担当者が、感謝の気持ちを高校生に伝えていました。日川高校では今後もボランティア活動を行う予定です。

一番大切なことは「楽しむこと」

一般社団法人日本トップリーグ連携機構

笛吹市生涯学習課・公益財団法人ふえふき文化・スポーツ振興財団

笛吹市は5月23日、いちのみや桃の里スポーツ公園において「SOMPO ポールゲームフェスタ in 笛吹」を開催しました。午前中は小学校低学年の児童と保護者がボールを使った体遊びを行う「あそびバ!」、午後は高学年の児童が4種類の球技すべてを体験する「キッズチャレンジ」

が行われ、それぞれ元日本代表などのトップアスリートによる指導を受けました。参加した親子たちは、身体と心をいっぱいに使って、思うように動いてくれないボールの行方を楽しみながらも基本的な運動能力や技術力を習得していました。



ボール遊びの親子



ラグビーボール体験



バスケットボール体験



バレーボール体験



ソフトボール体験

～岩波文庫は軽いのにすごく重く感じた～

甲州市立塩山中学校
甲州市生涯学習課



塩山中の生徒が描いた紙芝居で解説する若月さん

甲州市の「わだつみ平和文庫」には、戦没学徒兵の手記「きけわだつみのこえ」の発行の原点となった中村徳郎氏ゆかりの資料と、徳郎氏の遺言で弟の克郎氏が収集した書籍 33,000 点が収蔵・展示されています。塩山中では 10 年ほど前から 1 学年がこの施設を平和学習に活用してきました。今年



貴重な本の量と質に感動

は 6 月 7 日に、コロナ対策で 8 班に分かれ、それぞれが施設内でボランティアガイドの若月さんから戦争や学徒兵、中村家の歴史や平和文庫創設に関わる解説を聞いた後、膨大な書籍を閲覧しました。見学を終えた生徒たちからは「実際に本を見ると、どの本もきれいに保管されていて、克郎さんがとても大切に集めていたのだと感じた。手に取ると、岩波文庫は軽いのにすごく重く感じた。」といった感想が聞かれ、同世代の学生が思うように学べず、戦禍に散って行った無念さを痛感していました。

元オリンピック選手の指導で成績向上

山梨市立笛川小学校



講演会と実技指導の様子

笛川小は 5 月 10 日、県のオリンピック・パラリンピック教育推進事業を活用し、元オリンピック陸上女子 4×100M リレー選手で駿台甲府小学校職員の佐野夢加さんを講師に迎え、講演会と実技指導をいただく機会を得ました。佐野さんは講演会では自らの経歴に重ねながら何人もの児童に夢を語らせ、夢をもつこと、言葉にして実現させること、諦めないことの重要性を伝え、実技指導では姿勢や手足の動かし方、走る上での意識などについて熱く指導していました。翌週の 18 日には 6 年生の陸上記録会があり、「利き足をしっかり蹴り上げる」「腕を大きく振ることを心がける」などのアドバイスを実践して練習を積んだ児童たちの記録(タイム)が向上し、好成績を収めることができました。たとえ上位入賞できなくても、正しい知識と的確な指導の元、諦めず努力を継続することで必ず効果が現れることを実感できたことでしょう。



懸命に走る笛川小の児童

陸上部の先輩による里帰り指導

笛吹市立石和中学校

県下最大の部員数を誇る石和中の陸上部では、10 年ほど前から部員たちが陸上記録会前に石和町内の小学校を訪れ、6 年生に技術指導を行う活動を続けています。今年も 6 月 2 日にそれぞれの出身小学校を中心に「里帰り交流」を行いました。指導する側も、かつて同じように先輩から指導を受けて陸上記録会で好成績を収めた子どもたちばかりです。小学校の児童も先生方も、卒業して体と心

が一回りも二回りも成長し、立派に陸上部で活躍する生徒たちと再会できることを楽しみにしていました。記録会を終えた児童たちは、「お互いの年齢が近いこともあり、上手にコミュニケーションを取りながら的確な指導をってもらい、記録が伸びました。」と喜んでいました。もし、来年石和中の陸上部に入部すれば、今度は指導する側になって「里帰り」をすることになります。



高跳びの目標設定の指導



バトンパスのポイントの指導



前後を併走してペース配分の指導



スタートダッシュの指導

故郷で大きく育てて欲しいと願いを込めて

笛吹市立石和南小学校

公益財団法人日本釣振興会・峡東漁業協同組合

石和南小の4年生は、総合的な学習の時間で故郷「笛吹川」を題材にし、川に棲む生物の生態やプラスチックゴミの影響など、それぞれにテーマを決めて学習しています。その一環として5月20日、笛吹市役所前の笛吹川で鮎の稚魚放流体験を行いました。笛吹川流域では今回が初めての試みで、日本釣振興会山梨県支部が地元の子もたちに自然や魚へ触れあう機会を増やそうと発案、市長が賛同し、峡東漁協の全面協力をいただき実現しました。児童たちは始めに市長や釣振興会県支部長から笛吹川や鮎の生態などについて説明を受けたのち、



一斉に放流した後も、心配そうに稚魚の行方を追う児童たち
(写真提供：峡東漁業協同組合)

銘々がバケツに入れた稚魚を何回にも分けて約3500匹を放流しました。これまで一度も魚に触ったことのない児童や、魚が苦手な児童たちも、「かわ

い」「元気で凄い」と大騒ぎしながら貴重な体験を楽しんでいました。児童たちは、自分の手で放流した稚魚が故郷の笛吹川で無事に大きく育てて欲しいと願いながら、この地で大きく育っていく自分たちの姿と重ねていたのではないのでしょうか。



元気に飛び跳ねる稚魚に興味津々な児童たち

～花が彩る笑顔のまち～

笛吹高校では、前身の山梨園芸高校時代から生徒が育てた花を地域に飾る活動を続けています。今年も5月14日に2学年全員が附属農場で「ベゴニア・センパフローレンス」をプランターに植え付け、21日には環境委員などの代表生徒が石和駅周辺や市内の商店街に設置して回りました。「welcome 笛吹」と名付けられたこの活動は、



駅前商店街に設置する生徒

「～花で迎えよう山梨へ～」のサブテーマのもと、地域の美化に貢献し、来県者を花でお迎えする目的で行ってきました。今年は生徒からサブテーマを募集したところ、コロナ禍でも地域の方々に笑顔になってもらいたいという思いも込めた「～花が彩る笑顔のまち～」が選ばれました。店頭

に飾られる花を楽しみにしていた、という店主は「毎年、綺麗な花を飾っていただきありがたい」と感謝を口にし、満面の笑顔で生徒たちの活動を見守って下さいました。これからコロナが終息し、多くの観光客が笑顔と活気の溢れるこの町を訪れてくれることを願います。

山梨県立笛吹高等学校



プランターに植え替える生徒

ガンバレ先輩！オリンピックで金メダル 笛吹市・笛吹市立石和南小学校

東京オリンピック レスリングフリースタイル代表選手の乙黒圭祐、拓斗兄弟は、共に石和南小の出身です。6月11日、笛吹市長や地元議員を始め、山梨県レスリング協会、恩師の先生など多くの来賓を迎え、オリンピック出場壮行会が母校で実施



御陣屋太鼓に合わせ、一糸乱れぬクラッピング(手拍子)で力強く応援する児童たち

されました。参加した児童たちは、初めて大先輩である両選手を間近で見ると興奮し、校長から両選手が卒業文集に「将来の夢はオリンピックに出て金メダルを取る」「支えてくれた仲間や家族を大切にすること」といった言葉を残していたことを紹介されると、自分と同時期から明確な目標と決意をもち、実現させたことに感動していました。その後、石和南小伝統の

「御陣屋太鼓」に合わせ、力強い手拍子や足で地を踏みならすクラッピングで盛大に激励し、応援メッセージを寄せ書きした日章旗や手作りの金メダルを送りました。最後に恩師から花束を贈呈された両選手は、児童たち参加者を前に「金メダルの報告にまた戻ってきます」と決意を表明してくれました。誇り高い大先輩を憧れの眼差しで見つめていた児童たちの中から、将来の「新たな主役」が生まれるかもしれません。



児童から応援メッセージの書かれた日章旗を受け取る両選手

緑のカーテンで涼しい夏を

山梨市立窪平保育園・山梨市環境課・子育て支援課



苗の触り方などについて説明を受ける園児ら

山梨市立の各保育園では、市の環境課による企画で毎年「緑のカーテンづくり」に取り組んでいます。今年は5月24日に窪平保育園の年長児が山梨市役所を訪れ、地元農家の方々から指導を受けながら、ゴーヤーとキュウリの苗30本ほどを木製のプランターに植え替え、東館と西館の玄関ホールの両脇に設置しました。市役所の職員や訪れた利用者からは、「(玄関ホールは)ガラス張りなので暑くなると大変だが、緑のカーテンのお陰で涼しく快適になり、ありがたい。」と元氣だった園児たちに感謝していました。



大きく育ったキュウリとゴーヤーの苗(7月撮影)

東山梨・笛吹 小学校陸上記録会



昨年度はコロナ対策の休校もあり、実施できなかった6年生の陸上記録会ですが、今年は東山梨地区が5月18日(火)に塩山総合グラウンドで、笛吹地区が6月8日(火)に甲府市小瀬陸上競技場で、それぞれ実施されました。両日とも晴天に恵まれ、その時期とは思えない程の暑さの中でしたが、参加した児童たちは日頃の練習の成果を発揮すべく、元気いっぱい自己記録の更新を目指して競技に挑んでいました。

【4×100mリレー 結果】

順位	東山梨地区		笛吹地区	
	男子	女子	男子	女子
1位	後屋敷	日川	石和西	春日居
2位	八幡	笛川	一宮西	八代
3位	日下部	後屋敷	八代	石和南
4位	松里	祝	一宮北	御坂西
5位	菱山	塩山南	御坂西	境川&
6位	日川	八幡	春日居	富士見



峡東地域内中学校総合体育大会

東山梨中学校総合体育大会・笛吹市中学校総合体育大会が6月2日(火)・5日(土)・14日(月)に開催されました。特に中学生最後となる3年生は、日頃応援してくれている家族や指導してくれる先生方への感謝の気持ちを胸に、素晴らしいパフォーマンスを見せていました。

【各競技の優勝校】



種目	東山梨地区		笛吹地区	
	男子	女子	男子	女子
野球	山梨南	-	浅川	-
サッカー	山梨北	-	一宮	-
ソフトボール	-	塩山	-	-
バスケットボール	塩山	山梨南	一宮	御坂
バレーボール	山梨南	山梨南	御坂	一宮
卓球(団)	山梨南	山梨南	御坂	春日居
ソフトテニス(団)	山梨南	山梨南	石和	浅川
剣道(団)	塩山北	山梨北	春日居	一宮
柔道(団)	塩山	-	御坂	御坂
バドミントン	山梨北	塩山	-	-
バドミントンS	勝沼	勝沼	-	-
弓道(団)	-	-	石和	石和
体操(個)	-	-	石和	石和
陸上(共) (4×100mR)	山梨北	山梨北	石和	石和

弁護士出前授業 山梨県弁護士会・山梨市立日川小学校・笛吹市立石和西小学校

山梨県弁護士会では「個を尊重する自由で公正な社会にふさわしい市民を育成すること」を目的として、県下の小中高等学校などに会員弁護士を派遣する「出前授業」を行っています。内容は、各種「法教育」から「いじめ予防」「消費者教育」「選挙権・主権者教育」など各学校の要望に応じて多岐にわたり、特に来年4月から成人年齢が18歳に引き下げられることなどから、より一層出前授業のニーズが高まっています。

6月17日には、日川小で6年生が童話「三匹の子ぶた」を題材として模擬裁判を体験しました。児童たちは、未っ子のぶたを食べようと煙突から入ったオオカミを、あらかじめ沸騰させておいた大鍋に落として退治した事例について、正当防衛が成立する無罪か、成立しない有罪か、証言をもとに白熱した討論を続けていました。

また6月29日には、石和西小で5、6年生が2名の弁護士（古屋文和弁護士、小笠原巨弁弁護士）を招き、実際に裁判の証拠となった、いじめが原因で自殺した子どもが級友や母親にあてた遺書を読みながら、皆



「地域の子どもたちの力になりたい」と語る古屋文和弁護士（一宮中・日川高出身）

が安心して暮らしていくためには絶対にいじめはあってはならないことや、どうすればいじめを防ぐことができるかということについて深く学びました。また、気軽に行いがちなSNSの書き込みがいじめに繋がる危険性についても考えました。

いずれの授業も、児童にとって議論をして自分の意見を説得的に表現することの大切さや、皆が安心・安全で自由な生活を送ることができるようにするにはどうすればいいかということを考える、充実した時間となりました。



被告人、検察官、弁護士、証人などの役を演じる日川小の児童



遺書を読み、いじめについて熟考する石和西小の児童

峡東教育事務所からのお知らせ

※ 7月8日（木）に実施されました峡東地区地域教育推進連絡協議会総会におきまして、今年度の役員、事業計画案が了承されました。ありがとうございました。今年度役員は以下のとおりです。

会長・澤田 隆雄 氏（山梨市教育委員会 教育長）

副会長・辻 学 氏（甲州市生涯学習課 課長） ・田代 剛久 氏（塩山高等学校 校長）

・青柳 俊雄 氏（東山梨教育協議会 会長） ・加賀美 公人 氏（笛吹市教育協議会 会長）

参 与 ・坂野 修一 氏（峡東教育事務所 所長） ・廣瀬 学 氏（峡東教育事務所 副所長）

※ 次回の峡地連主催講演会は甲州市教育委員会と共催の『保幼・小・中連携セミナー』です。8月18日（水）午後3時～甲州市民文化会館ホールに 公認心理師 一瀬 英史 先生をお招きし「発達段階に応じた子どもとの接し方～クソガキ問のすゝめ～」と題して講演を行います。ぜひご参加ください。

※ エリアウェブに取り上げてもらいたいことを募集しています。共有したい情報や、教育事務所への要望などがありましたら、随時ご連絡ください。

PDF版をご覧ください

『エリアウェブ』はPDFのカラー版を峡東教育事務所のホームページに掲載中です。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、ホームページを開けます。是非ご覧ください。

ホームページアドレス

<https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/chiiki/backnumber.html>



エリアウェブ
ホームページ

ご意見をお寄せください

『エリアウェブ』のご意見・ご感想・取材情報をスタッフ一同お待ちしております。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、メールでご連絡いただくか、表紙上部の連絡先にご連絡ください。

E-mail アドレス

kyoiku-hym@pref.yamanashi.lg.jp



お問い合わせ